

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【公開番号】特開2015-3103(P2015-3103A)

【公開日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2014-182350(P2014-182350)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 8

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月6日(2015.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技媒体を循環させる循環経路を有し、遊技者により遊技が行なわれる封入式遊技機と、該封入式遊技機と通信可能に接続され、記録媒体を受付けて該記録媒体に記録されている記録情報により特定される遊技者所有の有価価値を用いて該封入式遊技機での遊技を可能にする遊技用装置と、該遊技用装置と通信可能に接続された遊技用管理装置とを備える遊技用システムであって、

前記遊技用管理装置は、

前記封入式遊技機が稼働状態のときに発生する遊技情報の数値が適正であるか否かの判定に用いる設定を前記遊技用装置へ送信する制御を行なう設定送信制御手段とを含み、

前記封入式遊技機は、稼働状態において発生する遊技情報を前記遊技用装置へ送信し、前記遊技用装置は、

前記設定送信制御手段の制御により送信されてきた設定を記憶する設定記憶手段と、

該設定記憶手段により記憶されている設定に基づいて、前記封入式遊技機から送信されてきた遊技情報の数値が適正であるか否か判定する適否判定手段とを含む、遊技用システム。

【請求項 2】

遊技用管理装置および遊技媒体を循環させる循環経路を有し、封入式遊技機と通信可能であり、記録媒体を受付けて該記録媒体に記録されている記録情報により特定される遊技者所有の有価価値を用いて前記封入式遊技機での遊技を可能にする遊技用装置であって、

前記封入式遊技機が稼働状態のときに発生する遊技情報の数値が適正であるか否かの判定に用いる設定を前記遊技用管理装置より受信する設定受信手段と、

該設定受信手段により受信された設定を記憶する設定記憶手段と、

該設定記憶手段により記憶されている設定に基づいて、前記封入式遊技機から送信されてきた遊技情報の数値が適正であるか否か判定する適否判定手段とを備える、遊技用装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

(1) 本発明は、遊技媒体を循環させる循環経路を有し、遊技者により遊技が行なわれる封入式遊技機（パチンコ機2、スロットマシン25）と、該封入式遊技機と通信可能に接続（コネクタ330、20、220と接続配線）され、記録媒体（カード）を受付けて該記録媒体に記録されている記録情報により特定される遊技者所有の有価価値（プリペイド残高、持玉数、あるいは貯玉数）を用いて該封入式遊技機での遊技を可能にする遊技用装置（カードユニット3）と、該遊技用装置と通信可能に接続された遊技用管理装置（上位サーバ801またはホール用管理コンピュータ1）とを備える遊技用システムであって、

前記遊技用管理装置は、

前記封入式遊技機が稼働状態のときに発生する遊技情報の数値が適正であるか否かの判定に用いる設定（セキュリティ関連情報の閾値を含む設定情報）を前記遊技用装置へ送信する制御を行なう設定送信制御手段（S707）とを含み、

前記封入式遊技機は、稼働状態において発生する遊技情報（ベースを演算するための遊技玉獲得個数情報および遊技玉発射個数情報等の情報）を前記遊技用装置へ送信し（図18のレスポンス）、

前記遊技用装置は、

前記設定送信制御手段の制御により送信されてきた設定を記憶する設定記憶手段（S755、CU3におけるセキュリティ関連情報記憶部）と、

該設定記憶手段により記憶されている設定に基づいて、前記封入式遊技機から送信されてきた遊技情報の数値が適正であるか否か判定する適否判定手段（S801～S810）とを含む。

## 【手続補正3】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0008

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0008】

このような構成によれば、遊技用管理装置から送信されてきた設定を遊技用装置が記憶し、封入式遊技機から送信されてきた遊技情報の数値が適正であるか否かの判定を遊技用装置がその設定に基づいて行なうために、遊技用管理装置が遊技情報の数値の適否を自ら判定することに比べて、遊技用管理装置の負担が軽減される。

## 【手続補正4】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0009

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0009】

(2) 上記(1)の遊技用システムにおいて、前記遊技用管理装置は、

前記封入式遊技機が稼働状態のときに発生する遊技情報の数値が適正であるか否かの判定に用いる設定の入力を受付けて記憶する入力設定記憶手段（上位サーバ801におけるセキュリティ関連情報記憶部）と、

前記設定記憶手段に記憶されている設定を前記入力設定記憶手段に記憶されている設定と照合することにより、前記設定記憶手段に記憶されている設定が適正であるか否か判定する設定判定手段（S706）と、

該設定判定手段により不適正であると判定されたときに、該不適正と判定された設定を適正な設定に更新するための処理を行なう設定更新処理手段（S707～S713）とを含む。

## 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

このような構成によれば、封入式遊技機から送信されてきた遊技情報の数値が不適正であると判定されたときにその不適正と判定された遊技情報に対応するエラーの種類を特定するエラー特定情報が遊技用装置から遊技用管理装置へ送信されるために、遊技用管理装置においては、発生したエラーの種類を掌握することができる。

## 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

(4) 本発明の他の態様は、遊技用管理装置(カードユニット3)および遊技媒体を循環させる循環経路を有し、封入式遊技機(パチンコ機2、スロットマシン2S)と通信可能であり、記録媒体(カード)を受付けて該記録媒体に記録されている記録情報により特定される遊技者所有の有価価値(プリペイド残高、持玉数、あるいは貯玉数)を用いて前記封入式遊技機での遊技を可能にする遊技用装置(カードユニット3)であって、

前記封入式遊技機が稼働状態のときに発生する遊技情報の数値が適正であるか否かの判定に用いる設定を前記遊技用管理装置より受信する設定受信手段(外部通信部324、S754)と、

該設定受信手段により受信された設定を記憶する設定記憶手段(S755、CU3におけるセキュリティ関連情報記憶部)と、

該設定記憶手段により記憶されている設定に基づいて、前記封入式遊技機から送信されてきた遊技情報の数値が適正であるか否か判定する適否判定手段(S801~S810)とを備える。

## 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

このような構成によれば、遊技用管理装置から送信されてきた設定を遊技用装置が記憶し、封入式遊技機から送信されてきた遊技情報の数値が適正であるか否かの判定を遊技用装置がその設定に基づいて行なうために、遊技用管理装置が遊技情報の数値の適否を自ら判定することに比べて、遊技用管理装置の負担が軽減される。

## 【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

このような構成によれば、封入式遊技機から送信されてきた遊技情報の数値が不適正であると判定されたときにその不適正と判定された遊技情報に対応するエラーの種類を特定するエラー特定情報が遊技用装置から遊技用管理装置へ送信されるために、遊技用管理装置においては、発生したエラーの種類を掌握することができる。